

## 第 2 回 印西地区消防組合及び栄町消防広域化協議会会議録

期 日 平成 2 8 年 1 1 月 1 日 (火)

場 所 印西地区消防組合消防本部セミナー室

### ○会議次第

1. 開 会 (午後 1 時 3 0 分)
2. 議 事
  - (1) 経過報告について
  - (2) スケジュールの変更について
  - (3) その他
3. その他
4. 閉 会 (午後 2 時 5 分)

---

#### 【出席委員】 1 1 名

会 長	伊 澤	史 夫	(白井市長)
副会長	板 倉	正 直	(印西市長)
副会長	岡 田	正 市	(栄町長)
委 員	小 川	義 人	(印西市議会議長)
委 員	大 野	博	(栄町議会議長)
委 員	川 上	賢 二	(印西市消防団長)
委 員	川 上	正 紀	(白井市消防団長)
委 員	大 野	徹 夫	(栄町消防団長)
委 員	生 稻	芳 博	(千葉県防災危機管理部消防課長)
委 員	須 藤	達 也	(印西地区消防組合消防本部消防長)
委 員	杉 田	昭 一	(栄町消防本部消防長)

#### 【欠席委員】 1 名

委 員	秋 本	享 志	(白井市議会議長)
-----	-----	-----	-----------

---

#### 【説明員】

印西地区消防組合消防本部	次 長	浅 野	富 夫
--------------	-----	-----	-----

---

#### 印西地区消防組合及び栄町消防広域化協議会事務局

事務局長	樋 関	健 一
主 査	伊 藤	正 和
主 査 補	徳 島	宏 樹

---

◎開 会

○事務局長（樋関健一） 本日は大変お忙しいなか、お集まりをいただきましてありがとうございます。

只今から、第2回印西地区消防組合及び栄町消防広域化協議会を開会いたします。

本日、進行を務めさせていただきます広域化協議会事務局の樋関でございます。

よろしくお願いいたします。

また本日は、白井市議会議長の秋本委員が公務のため欠席されておりますので、ご報告させていただきます。

開催に先立ちまして、伊澤会長よりご挨拶をお願いいたします。

○会長（伊澤史夫） 皆さんこんにちは。

本日は皆様お忙しいなか、ご出席いただきましてありがとうございます。

8月23日の第1回協議会以後、栄町消防との広域化について幹事会・専門部会を編成し、担当部門ごとに地域住民の安心安全の向上が図れるかどうか、一つひとつ検討がされているところでございます。

後で担当から説明がありますが、本日は議事として3項目について協議をお願いすることとなっております。

何卒スムーズな協議運営となりますようご協力をお願い申し上げ、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

○事務局長（樋関健一） ありがとうございます。

それでは協議会規約第9条第2項の規定により会議の進行につきましては、伊澤会長をお願いいたします。

伊澤会長、よろしくお願いいたします。

○議長（伊澤史夫） これから本日の会議を開きます。

まず、会議録署名人の指名を行います。

会議録署名人は、栄町議会議長大野委員、印西市消防団長川上委員を指名いたします。

よろしくお願いいたします。

それでは、議題（1）経過報告についてを議題とします。

担当より説明をお願いします。

浅野次長。

○印西地区消防組合次長（浅野富夫） それでは、経過報告について説明をさせていただきます。

9月21日、第1回広域化協議会幹事会を開催いたしました。

議題については印西地区消防組合・栄町消防の現状と課題について、広域化の態度決

定に関する資料についてです。

現状と課題についてですが第1回広域化協議会、今後のスケジュールで説明いたしました広域化を進めていくか否かの判断材料の一つとして、各ワーキンググループにより検討した資料です。

本日、資料としてお配りしておりますが、広域化協議会事務局より委員の皆様には既に提出させていただいております。

一項目ごとの説明は時間を要すことから概要を説明させていただきます。

総務部門につきましては消防財政状況、常備消防費負担金、職員構成・処遇など。

予防部門は立入検査、火災調査体制、各種講習・研修会・外郭団体との関係などです。

警防部門は各種災害出動体制、これは火災・救急・救助・水難でございます。指揮隊運用、消防通信指令、ちば消防共同指令センターの部門でございます。防災行政無線運用、消防車両整備計画などについて検討いたしました。

広域化態度決定に関する資料についてですが、只今説明いたしました印西地区消防組合・栄町消防の現状と課題と財政計画の前提条件などを資料としました。

財政計画の前提条件のシミュレーション内容ですが、シミュレーション期間・盛り込むべき事業・地方債償還に係る費用負担・分担金の算出方法・広域化方式などです。

第1回幹事会からの要望について説明させていただきます。

1点目、現状と課題について更に市別化し、広域化した場合の項目を追加。

2点目、関係市ごとのメリット・デメリットを記載。

3点目、消防団及び水利事務に要する経費について、事務が栄町に残るため栄町の推計に計上すること。

4点目、広域化した場合に削減できる項目、費用は何があるのか。

5点目、今後人口減少による減収が見込まれるので、定員適正化計画や消防署の適正配置を考慮し、予算管理して欲しいとのことでした。

これらの意見を受けまして、各専門部会で事務作業に取りかかっているところです。

続いて10月25日、第2回広域化協議会幹事会についてです。

議題につきましては、広域化方式の選択について、財政シミュレーションの前提条件について、スケジュールの変更についてです。

まず広域化方式の選択についてですが、栄町消防本部から事務委託にかかる協議事項が書面で提出されたことにより、栄町としての意向の確認をさせていただきました。

栄町としては検討していく中で、方式についてのこだわりはなく広域化が進めばよいという考えで、印西市・白井市の意向に沿っていきたいとの意見をいただきました。

別紙消防広域化の方式の比較についてをご覧ください。

消防広域化の方式につきましては一部事務組合方式・事務委託方式・広域連合方式の3つの方式がございますが、広域連合方式につきましては国・県から直接権限委任を受

けるためのもので、この方式を採用している組織は、消防事務のほか複数の事務を広域的に処理するために設置している例がほとんどでありますので、今回の協議には馴染まないことから一部事務組合方式か事務委託方式のいずれかの選択としました。

一部事務組合方式と事務委託方式の一般的な比較をまとめたものでございます。

両者の比較におきまして大きな違いは、一部事務組合方式ですと各市町が同じ立場で組合運営に参画できますが、事務委託方式ですと同じ立場で組合運営に参画ができないということです。

広域化した先進事例からも方式の選択の協議では、同じ立場で運営に参画できるかできないかというところで、選択が分かれているところが多い状況です。

また、事務委託方式のほうが、他の方式と比較して委託をお願いする側の財政負担が一般的に少なく済むというところがございます。

その他メリット、デメリットの一般論を記載させていただきました。

一部事務組合方式で4点。事務委託方式で5点を記載させていただきました。

続いて市町別広域化の効果でございますが、こちらは栄町さんが解決したい問題点としてあげております3項目、初動体制の強化・財政負担・組織の活性化につきまして、それぞれの市町別の視点から一般論でメリットを○、現状維持を△、デメリットを×で表示したものでございますが、今後の協議により変更となる可能性があります。

また、②財政負担につきましては、現在財政推計を策定中ですので検討中と表示しておりますが広域化による主な経費に記載いたしました。

広域化による事前準備経費や広域化による人件費の財政負担につきまして、事務委託方式では委託側が負担することになり、一部事務組合方式では構成市町で按分するというところに大きな違いがあります。

幹事会では、一般論として事務委託の方が良いのではないかとの意見も出ましたが、本資料での判断は難しい。先進事例より広域化方式のデータを収集し、協議会委員より意見を伺うのも良いのではとの意見に、本協議会で意見を頂戴できれば参考とさせていただきます。たく先進事例について一部紹介させていただきます。

資料についてはございません。先進事例の一般的な内容です。

事務委託方式につきましてメリットの1点目、スピード感のある意思決定ができる。

2点目、1対1の受委託の関係により各市町の実情に応じた消防サービスの提供及び負担の適正化が可能となる。

3点目、消防力に応じた費用負担ができる。

4点目、他の方法と比較して財政負担が少ないなどがございます。

次に一部事務組合方式を採用した場合でございます。

1点目、全体の経費について按分することから、消防サービスの水準を概ね均一に保たれる。

2点目、構成団体が同じ立場で運営参画ができる。

3点目、広域化の目的が複数市の消防組織体制の整備や機能の充実であることから、一部事務組合方式を採用したなどがございます。

事務委託方式につきましてデメリットの1点目、委託側の意見や要望が通らなくなのではないかとの懸念があったそうです。

2点目、消防行政に関する委託市町の関与が希薄になる。

一部事務組合方式を採用した場合のデメリットは、組合議会の設置など組織運営にあたり一定の経費及び事務量が必要になる。

広域化した先進事例の一般論を紹介させていただきました。

次に、財政シュミレーションの前提条件についてです。

第1回幹事会で協議した内容を基本とします。

栄町の受け入れ人数を44人から40人に修正。消防団・水利・水防事務を除いた40人ということで聞いております。

栄町負担分は特別分担金に計上することが追加されました。

続いて、会議の公開について事務局から提案がございました。

第1回協議会において、幹事会・専門部会も協議会同様に原則公開することとしましたが、幹事会・専門部会は協議会前の調整をする会議であり公開は馴染まないことと、先進事例を確認したところ同様でありましたことから、幹事会では幹事会・専門部会、両会議は非公開とさせていただくことで決定いたしましたので、ご報告させていただきます。

以上で経過報告を終わります。よろしく申し上げます。

○議長（伊澤史夫） 説明が終わりました。

意見・質問はございますでしょうか。

小川委員。

○委員（小川義人） 資料の確認をさせていただきます。

印西地区消防組合・栄町消防の現状と課題（抜粋）総務・予防・警防がありますが、これは9月21日の幹事会で要望・検討事項があったと思いますが、要望事項に基づいて作り直したものが今、私達に配られているのですか。

○議長（伊澤史夫） 浅野次長。

○印西地区消防組合次長（浅野富夫） そうでは、ございません。

第1回目に策定したものでございます。

幹事会で要望のありましたことについては、これから策定する予定で準備を進めております。

○議長（伊澤史夫） 小川委員。

○委員（小川義人） それに基づいた形で修正したものが、新たに配られるということで

すね。

○議長（伊澤史夫） 浅野次長。

○印西地区消防組合次長（浅野富夫） その考えであります。

○議長（伊澤史夫） 小川委員。

○委員（小川義人） 先程の経過報告で幹事会と専門部会は非公開となるというお話でしたが、前回の協議会で原則公開となったと思います。

個人情報が多く飛び交って不都合があるということなら分かりますが、会議録などは公開の対象にしたほうがいいと思いますが、そういった議論は無かったのでしょうか。

○議長（伊澤史夫） 浅野次長。

○印西地区消防組合次長（浅野富夫） 委員ご指摘のとおりでございますが、一番懸念しているところは協議会に諮る前の調整をする会議でありまして、先進事例を確認させていただきました。

協議会に諮る前の資料につきましては慎重な扱いを踏まえ、公開はしていないことと併せて会議も公開はしていないということでしたので、その辺を準用させていただき幹事会に事務局から提案したところ、いいだろうということで決定されました。

○議長（伊澤史夫） 小川委員。

○委員（小川義人） 議会も会議の前の調整として、あまり公開に馴染まないものもありますので、その点については理解しましたが、協議をした結果は資料として配られるので、結果としては配られるという認識でよろしいのか確認させて下さい。

○議長（伊澤史夫） 浅野次長。

○印西地区消防組合次長（浅野富夫） 協議会にお諮りして決定したことは公開とさせていただきます。

○議長（伊澤史夫） 小川委員。

○委員（小川義人） その際に会議録は残らないので、こういう結果が出ましたということに対して、こういった議論はありましたかということは尋ねることはできますか。

会議をする時に答えは一つではないですよ。Aという意見やBという意見もあります。結果的にAになったとしても、Bという意見は無かったのか事務局に尋ねることはできますか。

会議の経過について、お尋ねできるか確認させて下さい。

○議長（伊澤史夫） 浅野次長。

○印西地区消防組合次長（浅野富夫） 可能かと思えます。

○議長（伊澤史夫） 生稲委員。

○委員（生稲芳博） 広域化された場合に、県からどういった支援が出来るか考えていかなければならないところです。

広域化した時に何が必要になってくるか、補助金ということで考えれば、どのような

施設や車両なのか。

県全体の中で予算を理屈つけて、広域化の予算獲得となると早い助走をしていかないと間に合わないので、今後検討が続くと思いますが、何が必要なのかを早めに教えていただきたいと思います。

それを基にして、どういう理屈つけて予算を獲得できるかを考えていきたいと思っております。

- 議長（伊澤史夫） 県で交付金や補助金を用意するのではなくて、広域化にあたりどういう物が必要か予め出してもらい、それに対し県の予算の範囲内でということでしょうか。

生稲委員。

- 委員（生稲芳博） 県としても消防の補助金はありますが、広域化に特化したものはもっておりません。

印西地区消防組合さんは、消防ポンプ自動車などの充足率があまり高くない状況にあるかと思しますので何らかの理屈をつけて広域化に絡めて、そういった設備などを進められれば広域化のメリットが出てくるのではないかと思います。

何が必要かを出していただき、我々のほうで財政担当部局に説明をして予算化ができるかを考えていきたいと思っています。

- 議長（伊澤史夫） 広域化によってメリットが一つ二つ重なることによって、より広域化の効果が出ると思います。

事務局でこれから幹事会などをやっていく中で今の整備の弱い部分、このような物があつたらいいなど、広域化によってこういうところのメリットが出るということも協議の中に入れて進めていただきたいと思っています。

- 議長（伊澤史夫） 岡田委員。

- 委員（岡田正市） 各市町の施設や車両の整備計画がありますよね。

表の中は全部必要な物ですが、県はこれはOKですよという部分を出していただくとうちの層のメリット感が出ますので、ひとつお願いしたいと思っております。

- 議長（伊澤史夫） 生稲委員。

- 委員（生稲芳博） そういうものがあると財政部局とも戦い易くなります。

- 議長（伊澤史夫） ほかに、意見・質問はございますでしょうか。

それでは、議題（１）経過報告については以上で終了します。

続いて、議題（２）スケジュールの変更について、を議題とします。

担当より説明をお願いします。

浅野次長。

- 印西地区消防組合次長（浅野富夫） スケジュールの変更について、ご説明させていただきます。

広域化を進めていくか否かの判断材料の一部として、印西地区消防組合・栄町消防の現状と課題を資料として予定していましたが、幹事会では広域化した場合の比較材料も必要との要望に新たに資料を追加することとし、これによりこれまで予定していた期限について延長する旨、幹事会において決定いたしました。

については、本協議会での承認をいただきたくお願いするものです。

資料1をご覧ください。新旧表で示させていただいております。

変更部分は下線の部分です。

広域化協議会において広域化を進めるかどうかの態度決定期限について、本年11月から12月としていたものを来年3月としたいとお願いするものです。その他のスケジュールについて変更はございません。

審議の程よろしくお願いいたします。

○議長（伊澤史夫） 説明が終わりました。

意見・質問はございますでしょうか。

岡田委員。

○委員（岡田正市） おしりは合っていますから、お任せします。

○議長（伊澤史夫） 協議会で判断する余裕ができたということと、最終は変わらないということですので、このスケジュールで進めていただきたいと思います。

議題（2）スケジュール変更について、ご異議ございませんか。

<「異議なし」の声多数>

○議長（伊澤史夫） スケジュール変更については決定しました。

続いて、議題（3）その他ですが、何かありましたらお願いいたします。

岡田委員。

○委員（岡田正市） 栄町は一部事務組合でも委託でも、どちらでも私共は組合がいいということなら、こだわっておりませんのでお知らせしておきます。

○議長（伊澤史夫） 浅野次長。

○印西地区消防組合次長（浅野富夫） 発言してよろしいでしょうか。

○議長（伊澤史夫） 発言を許します。

○印西地区消防組合次長（浅野富夫） 栄町さんから書面をもって提出していただいたことで、栄町の意向を確認したいというところで第2回幹事会で議題として審議させていただきました。

3市町の協議となり方向性は全く見えていませんが、先程ご説明させていただきましたとおり、いろいろな判断材料があるかと思います。

大枠で考えると、事務委託の方もいいのではないかという意見もいただいているのも事実でございます。

しかし、幹事会での判断は非常に難しいというところで、先程の話に戻ってしまいま



す。協議会委員の中で、良いご意見がありましたら参考とさせていただきたいと思  
います。

○議長（伊澤史夫） 岡田委員。

○委員（岡田正市） 幹事会で決めるのは難しいと話がありましたが、これはやはり白井  
市長・印西市長の間ですね、構成市の議会の意向もあるでしょうから、広域化してい  
ただけならこだわらないというのは、印西市・白井市の首長の考え方を私は大事にした  
いなど考えておりますので、このことを事務局にお任せするという話ではございません。

○議長（伊澤史夫） 浅野次長。

○印西地区消防組合次長（浅野富夫） 申し訳ございません。

私の言い方が悪かったかも知れません。

幹事会で決めるのは難しいという言い方ではなくて、先程お示しさせていただきました  
た資料1枚だけでは判断するには難しいということでご理解いただきたいと思います。

○議長（伊澤史夫） ほかに意見・質問はございますでしょうか。

<「ありません」と言う人あり>

○議長（伊澤史夫） 特にないようでありましたら、この件については終了いたします。

本日の議題は全て終了いたしました。

議事進行に対しまして、皆様のご協力をいただきましたことに御礼を申し上げます。  
それでは事務局に戻します。

○事務局長（樋関健一） 次第3その他ですが、何かありましたらお願いいたします。

特にないようですので、以上をもちまして第2回印西地区消防組合及び栄町消防広域  
化協議会を終了いたします。

本日は、大変ありがとうございました。

---

上記会議録を証するためここに署名する。

議 長 伊 澤 史 夫

署名委員 大 野 博

署名委員 川 上 賢 二